タイムス少年サッカー

63チーム白熱の新人戦

梓川、アルフット、開智8強

第24回市民タイムス少年サッカー新人戦カガミカップ（市民タイムス少年団連合会主催、カガミグループ協賛）は8日、松本平広域公園総合球技場アルウィンで開会式を行い開幕した。小学5年生以下で構成した県内の63チームが参加して、初日はトーナメントの1―3回戦があり、中信地区の梓川FCとアルフット安曇野ジュニア、開智サッカースポーツ少年団の3チームを含む8強が出そろった。（富田昇永）

試合に先立ち、アルウィンで開会式が行われた。堂々と入場行進した選手たちは試合での健闘を誓った

市民タイムス少年サッカー新人戦カガミカップで熱戦を繰り広げる選手たち（菅野―中野）

アルウィンで行われた開会式で、選手はプラカードを先頭に堂々と入場行進した。大会長の新保力市民タイムス社長は「チームとしても個人としても成長することを期待する」と述べた。大会委員長の乾靖松本市サッカースポーツ少年団連合会長は「最後まであきらめない、自分たちでつくり上げる試合をしてほしい」とあいさつした。

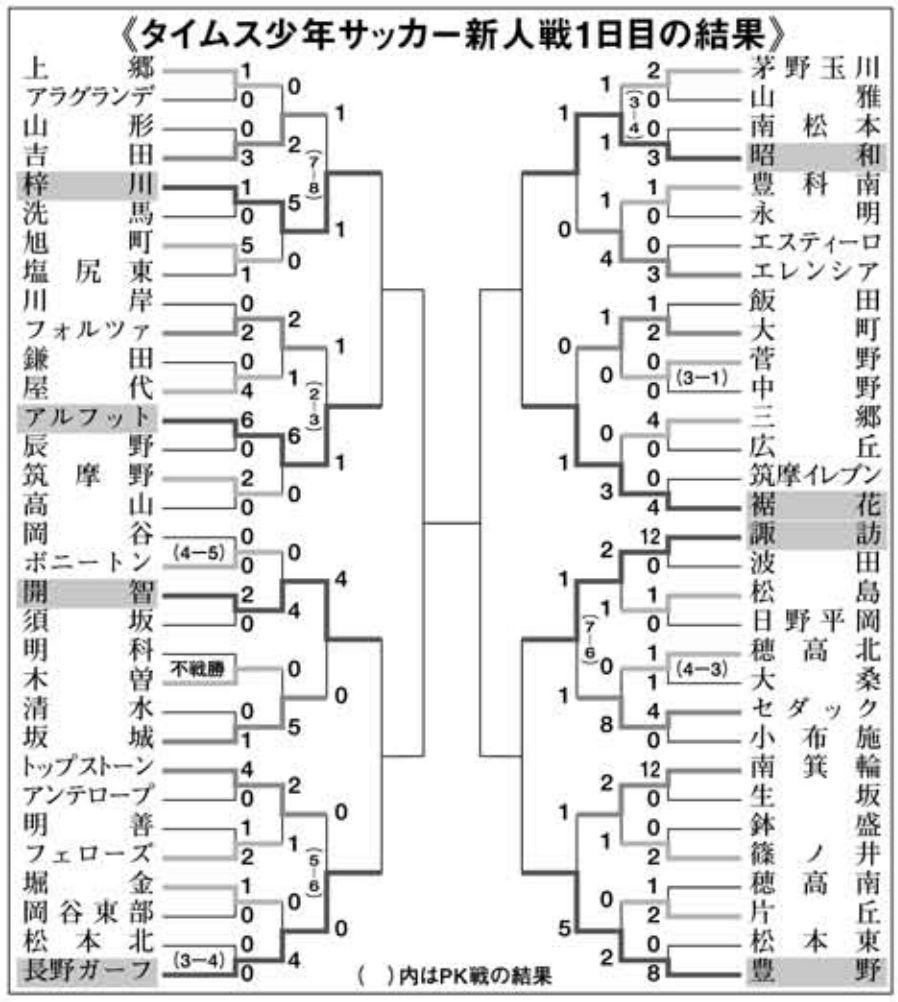
選手を代表して、松本エス・ティーロの古幡虎太主将（島立小5年）が「誇りと名誉、光り輝く未来のために最後の最後まで全力でプレーする」と力強く宣誓した。

松本蟻ケ崎高校吹奏楽部員45人が演奏して、選手の入退場行進に花を添えた。伊藤美雪部長（2年）は「楽しく明るい雰囲気になるように心掛けた」と笑顔を見せた。

開会式後、選手たちは8会場に分かれて熱戦を繰り広げた。連係を大切に、技術を出し切ろうと懸命にボールを追いかけた。前後半で決着がつかずにPK戦にもつれ込む白熱した試合もあった。

最終日の15日に、アルウィンと芝生グラウンドで、準々決勝以上の8試合とフレンドリーマッチが行われる。決勝はアルウィンで午後1時半に始まる。

《タイムス少年サッカー新人戦1日目の結果》



（ ）内はPK戦の結果

GKナイスセーブ！

前後半で決着がつかず、PK戦にもつれ込む試合もあった。必死にボールを止めるゴールキーパー（フォルツァ松本Jr―アルフット安曇野ジュニア）

元気に選手宣誓

力強く選手宣誓する松本エス・ティーロの古幡虎太主将。「誇りと名誉、光り輝く未来のために全力でプレーする」という言葉が印象に残った

ボールは友達！

激しく競り合う選手（トップストーン―フェローズ）

わが子に大声援

各会場には多くの保護者が訪れて声援を送った

後半に備え

ハーフタイムに水分補給をして後半に備える菅野の選手たち（菅野―中野）

高校生が演奏 華やか開会式

松本蟻ケ崎高校吹奏楽部員が、選手の入退場に合わせてスタンドで演奏した